

# 教科用図書（中学校）採択選定資料

## 社会科（歴史的分野）

宮城県教育委員会  
令和3年5月

## < 目 次 >

東 京 書 籍	-----	1
教 育 出 版	-----	2
帝 国 書 院	-----	3
山 川 出 版 社	-----	4
日 本 文 教 出 版	-----	5
育 鵬 社	-----	6
学 び 舎	-----	7
自 由 社	-----	8

発行者の番号・略称，及び，教科書の記号・番号，並びに書名は，「中学校教科書目録（令和3年度使用）」（令和2年4月 文部科学省）による。

種 目	社会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2  東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴史 705	書  名	新しい社会 歴史
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせる学習課題を設定し「知識・技能」の定着「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す内容となっている。</li> <li>○ 現代的な諸課題を意識させる学習や身近な地域の学習を通し、主体的に社会の形成に参画し、他者と協働しようとする資質や態度の育成につながる工夫がされている。</li> <li>○ 内容の程度、範囲は適切で文章も具体的な記述となっている。小学校の学習を振り返る活動を設けることで、中学校学習への移行に配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識・概念や技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、今日的な課題に向き合う姿勢の育成を目指して内容が整理されている。</li> <li>○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、出所や出典等も明確である。また、歴史研究の成果を踏まえた復元写真や想像図等も用いられている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱うことで、分野の関連を意識しながら多面的・多角的な学習になるように工夫されている。</li> <li>○ 単元構成が、学習への興味・関心を高める「導入部」、学習を進める「展開部」、学習をまとめる「終結部」の順に構造化されており、学習の流れを捉えやすくする工夫がされている。</li> <li>○ 1単位時間の学習の最後に、身に付けるべき知識を確かめる「チェック」、「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる「トライ」の課題を設けて、理解を促す工夫がされている。</li> <li>○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、各章の配分も適切である。標準授業時数135時間のうち、5時間の予備時間を設け、年間指導計画にも対応できる構成となっている。</li> <li>○ 身近な地域の歴史を調べる学習の事例を各時代に設けることで、郷土の歴史に目を向け、郷土を愛する心の育成ができるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入段階で単元全体を貫く「探究課題」を設定し、1単位時間ごとに学習課題と振り返りで課題を追究し、単元をまとめる活動で探究課題の解決を図る構成となっている。</li> <li>○ 探究課題解決のヒント提示、見方・考え方や着目点の提示、協働的な学習の場である「みんなでチャレンジ」など深い学びにつながる学習場面の設定の工夫がされている。</li> <li>○ 見開きの最初に掲載した「導入資料」で生徒の興味・関心を喚起し、「読み取る」や「考える」コーナーを設けて多様な学習に対応する工夫がされている。</li> <li>○ 他教科でも取り扱う内容には「他教科関連マーク」を明示している。更に、「くらげチャート」や「X・Y・Wチャート」等の思考ツールが紹介されるなどの工夫がされている。</li> <li>○ 学習効果を高める資料が掲載され、資料に付した「図番号」が本文に掲載されている。また、DマークコンテンツやQRコードを設けICT機器の利用を促す工夫がされている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章は敬体を用い、因果関係が明確に記述してある。また、中学生の発達の段階を考慮した平易な表現などの配慮がされている。</li> <li>○ 資料の掲載部分の背景に着色を施し、本文と資料の区別を明確にしたり、凹凸や飾りが無い「フラットデザイン」を採用したりするなどの工夫がされている。</li> <li>○ 使用文字の大きさや書体は適切で読みやすいものとなっている。小さな文字の読み取りが苦手な生徒に対して、ゴシック体の振り仮名を付けるなどの配慮がされている。</li> <li>○ 図表や写真等のレイアウトやバランスを工夫し、資料が読みやすく、色映えするように配慮されている。</li> <li>○ 針金綴じを用いて製本するなど堅ろうである。また、環境に配慮して再生紙や植物油インキを使用している。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7  教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 6	書 名	中学社会 歴史 未来をひらく
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「歴史の窓」や特設ページを充実させ、資料を活用しながら多面的・多角的に考察し、根拠を持って学習課題を考察することができるように配慮されている。</li> <li>○ 内容のまとめりごとの見通しと振り返りの学習場面を充実させ、本時の学習のまとめでは学習内容を自分の言葉で説明するなど言語活動に取り組む工夫がされている。</li> <li>○ 第一章では小学校で学んだ歴史上の人物や文化遺産等を振り返る作業活動が位置付けられており、生徒が楽しみながら歴史学習を進めていくきっかけとなるように工夫されている。</li> <li>○ 社会的事象の歴史的な見方・考え方の視点を働かせた学習の進め方につなげるためのページを教科書の冒頭に設定し、学習の充実と発展を図る工夫がされている。</li> <li>○ 各時代バランスよく資料が提示されており、取り上げられている内容や資料は適切で出所や出典等も明確である。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章の学習内容をイメージできるような資料を中心に導入ページを構成し、資料の読み解きの活動を通じて、生徒が興味・関心を持って章の学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 1時間で見開き2ページごとに「学習課題」(学習の見通し)と「確認/表現」(振り返り)を設け、生徒の主体的な学習や内容の理解を促す配慮がされている。</li> <li>○ 章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎・基本の定着を図る工夫がされている。</li> <li>○ 3分野の学習を関連させて現代社会につながる歴史的事象や課題の扱いを充実させるなど、社会科をより深く理解することができる内容や構成になるように配慮がされている。</li> <li>○ 時代ごとに郷土の伝統・文化への関心を高めるテーマを紹介したり、地域調査の手法について詳しく紹介したりする工夫がされている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題に対応した「確認」と「表現」という2段階の間いで、本時の学習を振り返り、基礎・基本の定着を目指す工夫がされている。</li> <li>○ 1時間の学習を見通す「タイトル」の提示で、生徒に「知りたい・考えたい」という学習課題を持たせ、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がされている。</li> <li>○ 資料を活用しながら学習を深められるように、資料の読み解きを支援するコーナーがあり生徒が自ら資料を活用する力を育めるように工夫されている。</li> <li>○ 現代社会の諸課題についての取扱いを充実させ、生徒が、自分たちが生きる社会について多面的・多角的に考察し、深く理解できるように配慮されている。</li> <li>○ インターネットを活用して学びを広げることができる「まなびリンク」等、歴史を様々な角度から深め、生徒の多様な興味・関心等に応じた学習に対応している。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時代ごとにページが色分けされており、視覚的に時代区分がとらえやすくなるように配慮されている。</li> <li>○ 同社の小学校社会科の教科書に登場する児童キャラクターが、中学生に成長した姿で登場し、学習の連続性や親しみを感じることができるように配慮がされている。</li> <li>○ 本文の活字は大きめであり、生徒が主体的に資料活用ができるように資料を大きく掲載するなどの工夫がされている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインの視点を取り入れ、レイアウトや配色、書体等の表現が工夫されている。</li> <li>○ 再生紙と植物油インキを使用し、印刷においてはバイオマスで発電されたグリーン電力を使用している。</li> </ul>						

種 目	社会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6  帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴史 7 0 7	書 名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当時の社会に見られた課題に対する様々な立場や選択を取り上げ、多面的・多角的に課題を追究させ、各時代の特色を捉えることができるように配慮されている。</li> <li>○ 歴史学習の基礎的・基本的な技能を習得させるため、「技能をみがく」や資料活用を問う設問等が各所に設けられており、多面的・多角的な分析の力が養えるように工夫されている。</li> <li>○ 歴史をつくってきた人々の姿に焦点をあて、その苦労や努力について気付かせ、学習意欲を高めながら我が国の歴史に対する理解を深めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 過去の様々な人々の日常生活の営みや努力、工夫を知ることを通して、生徒がよりよい社会の創造に参画しようとする態度を身に付けさせることができるように配慮されている。</li> <li>○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明確である。また、資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設置されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国の歴史について系統的に配列されており、各時代を比較したり疑問点を発見したりしながら、歴史の大きな流れを把握できるように内容が配列されている。</li> <li>○ 各章、各節のねらいと内容のまとまりは、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。</li> <li>○ 本文を補足する図解等によって、基礎的・基本的な内容の定着への配慮がなされている。また、特設ページ等により発展的な学習まで取り組めるように配慮されている。</li> <li>○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、内容・分量ともに適切である。各所に「歴史を探ろう」を設置し、各校の年間指導計画に広く対応できるように工夫されている。</li> <li>○ 中央とは異なる地域の姿を描いた「地域史」が設けられており、地域について興味・関心を高めながら、地域の実態に合わせて広く活用できるように工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章・節・各見開きページそれぞれの冒頭に、単元を貫く問いを設け、生徒自身が学習内容の関連を図りながら見通しを持って学習できるように配慮がされている。</li> <li>○ 見開きページの末尾に「確認しよう」「説明しよう」の欄を設け、生徒自身が興味を持ちながら対話的な学びを実践したり、振り返り活動が行えたりできるように工夫されている。</li> <li>○ 各節の導入の特設ページ「タイムトラベル」や「技能をみがく」という特設ページを適宜設けながら、生徒の興味・関心に応じた多様な学習が行えるように工夫されている。</li> <li>○ 文化史や地域史、人物コラム等が設けられていたり、歴史上の災害などをコラムで取り上げ防災意識を高めたりするなど、総合的な学習の時間との関連を図る工夫がされている。</li> <li>○ 挿絵、図表、写真が適切に配置されている。また、資料の一部や学習内容に関する動画をQRコードから閲覧でき、生徒が興味を持って自学自習できるように工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章が平易で、人物や地名等には振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現が工夫されている。</li> <li>○ イラストや図版が多様で特設ページも多く、生徒が親しみや魅力を感じながら学習に取り組めるように配慮されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザイン・フォントが使用され、文字は見やすく大きさも適切である。また、見開きごとに学習内容の時期を着色した年表を設けるなど見やすい工夫がされている。</li> <li>○ 見開きページのグラフ、地図等が、学習課題に対して関連を図りながら適切な大きさと配置されている。また、識別しやすい色や模様が使用されている。</li> <li>○ 用紙に古紙やフレッシュパルプを使用したり、インクに国産の米ぬかを原料とするライスインクを用いたりするなど、環境に配慮がされている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	8 1  山 川	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 8	書 名	中 学 歴 史 日 本 と 世 界
1 内 容 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各テーマの冒頭に、そのテーマを理解するための発問をし、本文を読む視点を示したり、学習に対する見通しを持たせたりするなどの工夫がされている。</li> <li>○ 「ステップアップ」では、更なる課題追究に向けた発問が提示され、その後の歴史への影響等を考えさせる内容となっている。</li> <li>○ 「身近な地域を調べよう」では、歴史学習の導入として、学習の進め方を詳しく説明しており、また、イラストを適宜使うことで生徒が理解しやすい内容となっている。</li> <li>○ 多様な発問によって、歴史が変化する過程でおこる諸課題を意識する歴史的な見方・考え方が身に付くように工夫されている。</li> <li>○ 学習内容が習得できるように各時代バランスよく資料が提示されており、出所や出典等も明確である。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章の初めに日本史と世界史に関係する写真を、上下に分けて時代順に示し、視覚的に流れをつかませる工夫がされている。</li> <li>○ 基本的に一つのテーマを見開き2ページとし、授業時数 135 単位時間で無理なく学べるテーマ構成となっている。</li> <li>○ 各章の「まとめ」では、歴史の流れや因果関係などに着目させたり、比較させたりする発問があり、各時代の流れ・特色を確認することができる工夫がされている。</li> <li>○ 「歴史へのアプローチ」では、グローバルな視点で見たテーマ・ポイントを絞ったテーマ等、歴史的な事象を多面的・多角的に考察するように工夫されている。</li> <li>○ 「地域からのアプローチ」では、各地域の歴史について、時代の展開や文化財保護の取組等を理解させることで、歴史を学ぶ現代的な意味を考えさせる工夫がされている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒にとって意味の分かりにくい用語に関しては、同じページに詳しい解説が付いており、その都度、理解できるように工夫されている。</li> <li>○ 高等学校の教科書や図録に出てくるものは中学生が理解できるよう平易な内容となっており、高等学校の「歴史総合」「歴史探究」等の学習につながるように配慮されている。</li> <li>○ 高等学校の教科書に出てくる史料を口語訳し、高等学校の教科書に出てくる史料を中学生で見慣れさせておく工夫がされている。</li> <li>○ 「歴史を考えよう」では、生徒の興味・関心を高める資料を基に「思考力・判断力・表現力等」を高める問いが付され、主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がされている。</li> <li>○ 博物館・資料館のホームページサイトや動画を見たり、音声を聞いたりすることができるようにQRコードを付けるなどの工夫がされている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図版が大きく、バランスよく配置されており、生徒に考えさせたいところに発問を提示し、どこに注目すべきかの示唆を与える工夫がされている。</li> <li>○ 社会や経済の仕組み等、生徒にとって理解しにくかったり、イメージしにくかったりする学習内容を図式化して視覚的につかませる工夫がされている。</li> <li>○ 各テーマの基本色を日本の歴史と世界の歴史で分け、学習内容が日本のことか世界のことかが分かるように工夫されている。</li> <li>○ 各世紀の世界の様子を地図とイラストを用いて紹介しており、日本の歴史と世界の歴史を関連付けて考えさせるように工夫されている。</li> <li>○ ワイド版で見やすい体裁で、再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6  日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 9	書  名	中 学 社 会 歴 史 的 分 野
1 内 容 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史的事象に関する関心を高め、資料の読み取りや意見交換などで多面的・多角的に課題を考えることができ、対話的な学びを促す活動の場面が設定されている。</li> <li>○ 資料で前後の時代を比較したり、年表と世界地図を使って、時間軸と空間軸から時代を捉えさせたりして「思考力・判断力・表現力等」を高めるように配慮されている。</li> <li>○ 小学校での学習内容を踏まえて地理的分野、公民的分野と関連させながら学べるように、発達の段階に応じて意欲的に学習できる内容が工夫されている。</li> <li>○ 生徒が興味・関心を持って主体的に取り組むことができる課題を設定し、学習に入りやすくなるように主体的な学びを促す課題設定が工夫されている。</li> <li>○ 学習課題の解決に向けて各時代バランスよく資料が提示されており、出所や出典等も明確である。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入単元の第1編、各時代の特色を学ぶ第2編から6編、未来を構想する学習の順番で構成され、歴史の大きな流れを理解し、未来を考えることができるように配慮されている。</li> <li>○ 歴史的分野の目標を踏まえて、学習課題を明確にし、導入からまとめまでの流れは各編で共通に構成されており、通史の理解に配慮されている。</li> <li>○ 本文・図版では、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援している。生徒の思考に沿って基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を進めるための配慮がされている。</li> <li>○ 学習課題の理解を深めるため、見方・考え方を働かせる問いを示すなど、各校の年間指導計画に広く対応できる工夫がされている。</li> <li>○ 時代ごとに史跡・文化財・人物を紹介しており、生徒が歴史を身近に感じながら地域の歴史を調べる手順を学び、問題解決を図る態度を育てるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題に対応した「確認」を設け、基礎的・基本的な知識の確実な定着や習得した知識を活用してまとめることができるように工夫がされている。</li> <li>○ 「チャレンジ歴史」等のページを設け、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験し、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫されている。</li> <li>○ 歴史の学習の最後に「歴史との対話を未来に活かす」ページが設けられ、生徒一人一人が歴史的事象に興味・関心を持ち、知識だけではなく技能の習得にも配慮されている。</li> <li>○ 小学校社会科、地理的分野・公民的分野と相互に関連した教材が取り上げられており、教科書全体を通して関連のある教材を掲載されている。</li> <li>○ 資料等の読み取りにおいては視点が提示されており、生徒の資料活用能力を高めるような工夫がされている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分かりやすい文章表現となっており、語句の説明や解説等が必要に応じ記載されている。また、学習している時代や世紀を常に確認できるように配慮されている。</li> <li>○ イラストや図版は鮮明で生徒の興味・関心を高める配慮がされている。また、大判ページで絵画資料を読み取る楽しさを実感できる教材の工夫がされている。</li> <li>○ 活字は比較的大きめで、重要語句にはすべて振り仮名を付け、書体もユニバーサルデザインフォントを採用し、小さな文字でも読みやすくする配慮がされている。</li> <li>○ 各単元で単元カラーを設定し、色遣いを統一している。また本文と図版を関連させて読み取れるように工夫されている。</li> <li>○ ワイド判で見やすい体裁で、カラーユニバーサルデザインへの対応もされている。また、本体の軽量化も配慮されている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 7  育 鵬 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 1 0	書  名	最 新 新 し い 日 本 の 歴 史
1 内 容 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史的事象に対する関心を高め、資料等を活用して多面的・多角的に考察する力を養うように配慮されている。</li> <li>○ 「思考力・判断力、表現力等」を養うため、言語活動の充実を図ることができる特設ページ等が豊富に設定するなどの工夫がされている。</li> <li>○ 歴史上の人物に焦点を当て、その苦勞や努力について気付かせ、学習意欲を高めながら我が国の歴史に対する理解を深めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 我が国の歴史だけでなく、我が国の歴史の背景にある世界の歴史についても学習課題等を設けることで、日本の歴史と世界の歴史の関連性が理解できるように工夫されている。</li> <li>○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明確である。また、各時代の資料がバランスよく提示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国の歴史については系統的に配列されており、我が国の歴史が大きな流れが捉えやすくなるように配慮されている。</li> <li>○ 各章、各節のねらいと内容のまとめりは、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。</li> <li>○ 各単元の導入に問題提起となる発問を設け、学習内容を把握し定着への配慮がされている。また、多様な特設ページ等により発展的な学習まで取り組めるように配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる内容や分量である。「歴史のターニングポイント」等が設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 地域の文化財資料や、各地域の文化遺産が多く紹介されており、地域について興味・関心を高めながら、地域の実態に合わせて広く活用できるように工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きページごとに学習課題が設定されており、学ぶべき基礎的・基本的な知識や考え方を把握しながら、生徒が見通しを持って学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 見開きページに「つかむ」ための資料、「調べる」ための資料、「まとめる」ための資料を配置し、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 「歴史ビュー」「歴史ズームイン」等の特設ページを設けており、多面的・多角的な視点から発展的な学習が行えるように配慮されている。</li> <li>○ 各時代を代表する日本や世界の文化遺産等が写真で紹介されており、生徒の興味・関心に応じて学習が行えるように配慮されている。</li> <li>○ 学び方の手立てを示したり、歴史の流れを大観したりするページが設けられている。また、挿絵や写真、図表等が時代の特色に応じて適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章表現も平易であり、語句の説明や解説が必要に応じて記載されている。また、人物や地名等に振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現となっている。</li> <li>○ イラストや図版が多様で特設ページも多く、生徒が親しみや魅力を感じながら学習に取り組めるように配慮されている。</li> <li>○ 文字の大きさは適切で、重要語句や重要人物を太字のゴシック体で表記するなど、読みやすい工夫がされている。</li> <li>○ 図版は大きく、色彩や形等にも配慮がなされている。また、見開きページ上部の絵や写真等の資料が掲載されている部分を本文と色分けすることで、読みやすい体裁となっている。</li> <li>○ 用紙に再生紙を使用したり、インクに大豆油インキを用いたりするなど、環境に配慮がされている。</li> </ul>						



種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 9  学 び 舎	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 1 1	書  名	と も に 学 ぶ 人 間 の 歴 史
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の歴史を背景に、日本の歴史を大きく理解させ、資料から調べ、まとめる技能を身に付け、多面的・多角的な考察を深め、様々な表現活動となるように配慮されている。</li> <li>○ 各単元の「まとめ」には、身に付けた基礎的・基本的な知識を用いて、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力を育成するための課題を設定するなどの工夫がされている。</li> <li>○ 学習内容を振り返りながら、「学び方・まとめ方」を身に付けられるような工夫を行っている。また、各単元の導入段階に「テーマ」を設け生徒の興味を高める配慮がされている。</li> <li>○ 学習内容の構造化と焦点化を重視して各テーマが設定されており、歴史の具体的場面や時代を生きる人々の姿を捉えながら、学習内容の充実が図られるように工夫されている。</li> <li>○ 歴史を捉える重要事象の理解に加え、庶民や女性の生き方や文化とその担い手、世界から東アジアをみる視点等、多面的・多角的な学習内容となるように工夫されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史の大きな流れが理解できるように本編 113 のテーマに配列されているとともに、世界史教材の多様、近現代史学習の充実を目指した内容が工夫されている。</li> <li>○ 各時代の特徴をつかませるために、各部・各章において、政治・文化・産業・対外関係・民衆の動き等について広く焦点を当てる内容が工夫されている。</li> <li>○ 各部・各章の終結段階には、知識・技能に関する確認問題があり、それを基に歴史事象の因果関係等を説明する課題を設けて発展的な学習につなげる工夫がされている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識の定着を図る適切な内容となっている。また、各校の年間指導計画に広く適合するように工夫されている。</li> <li>○ 地域の遺跡や文化財、先人の功績を取りあげたり、「地域の博物館」学習を設けたりして、身近な地域の学習が行えるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文を読み、図版を読み解いていくことにより、生徒自身が気付き、疑問を持って主体的に学習できるように配慮されている。</li> <li>○ 各部・各章のまとめに意見交換や自らの言葉による時代の特色についての説明等の活動を取り入れ、主体的・対話的な学びの実践につなげる工夫がされている。</li> <li>○ 時代区分の欄に「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄を設けることで、各地のできごとがより多くの生徒に分かりやすく捉えられるような配慮がされている。</li> <li>○ 体験学習やインターネットでの検索、博物館学習、インタビュー調査とまとめ、話し合い学習等の進め方が紹介されており、他教科等の学習にも生かせる内容となっている。</li> <li>○ 索引ページを充実させることで、歴史的事象や日常の事物の多面的・多角的な理解を目指す工夫がされている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平易な文章で書かれ、生徒が自ら読み進めることができ、気付きや疑問が生ずるような表現が工夫されている。</li> <li>○ 子供や女性等、歴史の裏側に隠れがちな人々の生活や業績に焦点をあてることで、興味・関心を引き出し、主体的な学習ができるように配慮されている。</li> <li>○ 文章表現や漢字の使用、振り仮名等が、想定される学習・学年に応じて編集されており、学習に取り組みやすいように配慮されている。</li> <li>○ 判型をA4判とすることで、豊富な資料と本文記述を盛り込めるようにし、見やすく印象的な紙面づくりが工夫されている。</li> <li>○ 針金を使わない堅ろうな製本になっている。環境に配慮するため、再生紙、植物油インキが使用されている。</li> </ul>						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	225  自由社	教科書の 記号・番号	歴史 712	書  名	新しい歴史教科書
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史に関わる諸事象について、歴史的な見方や考え方を働かせながら、課題を追究することができるように配慮されている。</li> <li>○ 序章では、歴史のとらえ方が位置付けられており、地域の歴史を調べる学習や、小学校で学んだ歴史上の人物を取り上げることで、歴史学習への意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 歴史上の人物に焦点をあて、その苦労や努力、工夫に気づかせ、生徒がよりよい社会の実現に参画しようとする態度を身に付けることができるように配慮されている。</li> <li>○ 学習課題の解決のために、必要な資料が各時代バランスよく提示されている。欄外に年表が掲載されており、どの時代の学習をしているか常に意識できるよう配慮されている。</li> <li>○ 内容のまとめりごとに振り返りの学習を充実させ、学習内容を自分の言葉でまとめたり、図で表現したりする活動を取り入れることで、言語活動の充実を図る工夫がなされている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国の歴史について系統的に配列されており、歴史の大まかな流れを理解しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 歴史的分野の目標を踏まえ、全体を構造的に関連付けて構成し、歴史的な見方や考え方をを用いて学習が進められるように工夫されている。</li> <li>○ 章の導入のページに、小学校で学んだ人物を中心に時代を大観できる欄があり、小学校から中学校への学習を円滑に進められるように工夫されている。</li> <li>○ 章の最終ページには、学習した内容がまとめ図としてまとめられており、次の章の学習へのつながりが分かるように配列され、生徒の学ぶ意欲を促すように工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができる内容や分量であり、各校の年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページごとに学習課題が設定され、学習すべき内容が明確なだけでなく、まとめとして「チャレンジ」の欄を設け、主体的で対話的な学びにつなげる配慮がされている。</li> <li>○ 「もっと知りたい」「人物クローズアップ」のコラム欄を適宜設けることで、生徒が歴史的分野の学習に対して、さらに深く学び、考えることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章の章末には「調べ学習のページ」をはじめ、計4つの欄を配置しており、振り返り活動等に生かすことで「思考力・判断力・表現力等」を高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 資料のそばのキャラクターの吹き出しの内容が、資料の見方のヒントとなったり、生徒の興味を高めたり、気づきを促したりできるように工夫されている。</li> <li>○ 資料には見開き2ページごとに、すべて通し番号が付けられ、本文には対応する資料番号が表示されており、指導する場面が明確になるように工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章ごとにページが色分けされているだけでなく、コラム別に色分けされており、視覚的に扱いやすいように工夫されている。</li> <li>○ 本文は敬体で書かれており、中学生の発達段階を考慮した分かりやすい表記や表現が工夫されている。</li> <li>○ 重要語句にはすべて振り仮名を付け、使用されている文字の大きさや書体は適切で、親しみやすいように配慮されている。</li> <li>○ 図版は大きく、色彩や形、レイアウトが工夫されている。また、コラム欄や資料の文字濃度や大きさを工夫し、本文が読みやすいように工夫されている。</li> <li>○ 針金を使用しない堅ろうな製本である。長期間の使用にも耐えられるように丈夫なつくりとなるよう工夫されている。</li> </ul>						